

日産スタジアムボランティア

Since 1999

20年の歩み

20th ANNIVERSARY



日産スタジアムボランティア20周年記念特集号

日産スタジアム名誉場長 小倉純二様よりメッセージを頂きました

～ ボランティア20周年おめでとうございます！ ～

2002年のFIFAサッカーワールドカップの機会に誕生した日産スタジアムボランティアが20周年を迎えられ、心から、おめでとうございますと申し上げたいと思います。そして、主な活動の中心である横浜F・マリノスが、2019年シリーズで、最終戦FC東京を3対0で破り、Jリーグで優勝してくれましたことが、20周年にお祝いの花を添えてくださいました。嬉しいことです。

横浜市長であられた故高秀秀信さんの英断により生まれた72,327人収容の日本最大の日産スタジアムで、サッカー日本代表チームがロシアに対してサッカーワールドカップでの初勝利を挙げたばかりでなく、ワールドカップのブラジル対ドイツの決勝を開催したことで、世界的に大変有名なスタジアムとなりました。

世界の三大スポーツと言われるサッカーワールドカップ、ラグビーワールドカップ、オリンピックの男子の決勝を開催するスタジアムは、日産スタジアムしかありません。2002年のサッカーワールドカップ決勝での観客数69,029人を、2019年ラグビーワールドカップ決勝で70,103人と17年ぶりに破り、日産スタジアムは進歩を続け、多くのファンに愛され続けております。その理由の大きな一つが、スタジアムで献身的に、そしてユーモアを持ってボランティア活動をなさっておられる皆様のお力であると思います。

これからも、日産スタジアムをよろしく願い申し上げますと共に、活動の一環として、新年に開催されておられる、日本の現状から広場もあまりなく、消えていってしまう「凧揚げ」「ベーゴマ」などの普及をする会を、続けていただきたいと願っております。



小倉 純二様

日産スタジアム名誉場長
昭和13年8月14日生まれ
日本サッカー協会会長、FIFA
理事、東アジアサッカー連盟会
長を務める。
現在、日本サッカー協会相談役

日産スタジアムボランティア 20年の歩み

1998年	(平成10年3月)	横浜国際総合競技場オープン
1999年	(平成11年)	横浜国際総合競技場ボランティア創立 約700名が登録
2000年	(平成12年)	Jリーグ 第1回ボランティア活動、ボランチわ第1号発行
2001年	(平成13年)	Jリーグボランティア活動 リーダー制度開始
2002年	(平成14年)	2002FIFAワールドカップ™
2003年	(平成15年)	運営ボランティアガイド発行
2004年	(平成16年)	横浜 F・マリノス岡田武史監督の特別講演会
2005年	(平成17年)	ネーミングライツ導入により日産スタジアムと命名
2006年	(平成18年)	第1回サイクルパークフェスティバル
2007年	(平成19年)	ボランティア全員集会・研修会・交流会開催
2008年	(平成20年)	第1回餅つき&しめ縄飾りづくり開催
2009年	(平成21年)	日産スタジアムボランティア10周年記念、記念祝賀パーティー
2010年	(平成22年)	10周年記念植樹祭、新横浜公園にヨコハマヒザクラを植樹
2011年	(平成23年)	東日本大震災救援チーム設立、義援金募集、救援物資発送
2012年	(平成24年)	新横浜公園に新たに田んぼを造る、市民と田植えを実施
2013年	(平成25年)	親子と案山子づくり体験
2014年	(平成26年)	AFC チャンピオンズリーグ 横浜 F・マリノス vs 広州恒大
2015年	(平成27年)	小倉純二名誉場長就任、名誉場長講演会
2016年	(平成28年)	東日本大震災5周年、ベガルタ仙台サポーターに千羽鶴贈呈
2017年	(平成29年)	リホビタンD チャレンジカップ® 2017 ラグビー日本 vs オーストラリア
2018年	(平成30年)	キャノンフレイシスローカップ® 2018 ニュージーランド® vs オーストラリア
2019年	(平成31年)	ラグビーワールドカップ2019™ 決勝・準決勝を含む6試合
2020年	(令和2年)	日産スタジアムボランティア20周年記念講演会・記念パーティー
2021年	(令和3年)	東京オリンピック2020 男子・女子サッカー 11試合(予定)

日産スタジアムボランティア20周年記念講演会！

～ 日産スタジアム名誉場長 小倉純二様による記念講演が行われました ～

1月18日(土)、雨が降って肌寒い日となりましたが、日産スタジアムボランティア20周年記念講演会が301号室で行われました。横浜マリノス株式会社様や株式会社横浜シミズ様のご来賓の方々、日産スタジアム元副場長木村重治様、日産スタジアム運営ボランティア、ツアーボランティア、スタジアムスタッフの約140名が集まりました。記念講演会の会場には20年間のボランティアの思い出の品やユニフォームやグッズが展示されて、多くの出席者が展示品を懐かしそうに見入っていました(展示品の一部の写真を本誌10～11ページに掲載しています)。

初めに公園管理局日産スタジアム事業部長の高橋昌広様から開会のご挨拶がありました。

<高橋部長ご挨拶>

このたびは日産スタジアムボランティア20周年、誠におめでとうございます。そして今日はあいにくの天気ですが、このような講演会を開くことができました、お礼を申し上げます。日産スタジアムは日ごろのボランティア活動により、スタジアムのイベントが成り立っています。ご協力頂きましてありがとうございます。今日は小倉名誉場長より平成サッカー史や、2002年ワールドカップが横浜で行われるようになった経緯など日産スタジアムの歩みについてお話を頂戴できるものと思っております。貴重な機会ですので、十分にお聴きになっていただきたいと思っております。それでは午後の記念パーティーを含めて1日の予定となっておりますが宜しくお願い致します。本日は誠におめでとうございます。



挨拶される高橋事業部長

日産スタジアム名誉場長 小倉純二様による20周年記念講演

皆さまのお力によって日産スタジアムボランティア創立20周年を迎えることができました。誠におめでとうございます。スタジアムでボランティア活動を20年間続けてやられているところはどこにもありません。他のボランティアは2002年日韓共催ワールドカップ完了をもって活動を終了しています。皆さまにはこれからも引き続きお願い致します。

さて、私は2002年ワールドカップのトーナメントダイレクターという日本側の責任者を依頼されて引き受けることになりました。そして2002年ワールドカップを知っているのだからラグビーワールドカップ2019や東京オリンピック2020での試合が行われる日産スタジアムの名誉場長を横浜市から依頼されて就任しました。

実は一昨日、毎日新聞社から「神奈川イメージアップ大賞」をいただきました。この部屋のすぐ横に飾ってありますが「笑顔のスタジアム」と書道家の方によって書かれた色紙を、賞状と共にいただきました。われわれと一緒にボランティアの方々がラグビーワールドカップをしっかりとがんばってくれたことによる表彰です。特別賞を受賞したのが、昨年優勝しました横浜F・マリノスです。ラグビーワールドカップでベスト8に入る活躍をした日本代表チームが同じく特別賞をもらいました。特に毎日新聞社がお話しになりましたが、10月13日の日本対スコットランド戦を台風通過直後によく行ってくれましたと好評をいただきました。試合をどうにかやろうと、よく努力してご功績を挙げられたことが受賞の一因となっています。すばらしい事をなされたと思っています。

<1. 国際サッカー連盟(FIFA)や国際オリンピック委員会(IOC)などの加盟協会について>

さて今日の講演会では、最近の国際サッカー連盟(FIFA)の状況が変化してきた点や、東京オリンピック2020に関して説明していきます。加えて20年間にここのスタジアムで起きたことについて写真をご覧いただき説明を聞いていただきたいと思っております。最初にご覧いただくのが、アジアからヨーロッパまでサッカーの競技団体がいくつあるのかを表しています。世界では211のサッカー競技団体となっています。それに対して、ラグビーは117団体となっています。一方、オリンピックの加盟団体は206です。東京オリンピック2020では200以上の国や地域が参加するものと予想されます。

サッカーはイギリスからスタートしたスポーツということもあり、イングランドとウェールズとスコットランドと北アイルランドの4チームが最初からFIFAに加盟していました。一方、国際オリンピック委員会(IOC)ではイギリスとして1チームで加盟しています。その他の国の場合は、ほぼ同じようにFIFAとIOCの両方に加盟しています。

ラグビーワールドカップの場合、ラグビーもイギリス発祥のスポーツで、イングランドとウェールズとスコットランドはサッカーと同じですが、イギリスの北アイルランドと隣国のアイルランドがひとつのチームとなって組んで出場していました。これは驚きで、サッカーでは考えられないすばらしい点でした。なお、卓球の場合は、サッカーやオリンピックやラグビーよりもっと多くの国が競技団体に加盟しています。

2022年にカタールでワールドカップが開催されますが、FIFAは一時、48チームで行うことを提案しました。それに対して、UAE やサウジアラビアが対立関係にあるイランをカタールが支持していることから、FIFAの提案に反対して実現できませんでした。2026年から48チームとなります。2002年日韓共催大会では32チームによって60試合が行われました。それが48チームになると80試合となります。80試合を行うにはさすがにアメリカ合衆国でも自国ですべてを実施できないので、カナダとメキシコとの3カ国共催ということが決まりました。そして、地域の出場枠の数の見直しも行います。FIFAによるとオセアニアの出場枠を0.5から1にします。ヨーロッパでも出場枠が増えて現状の13から16チームになるのではないのでしょうか。

女子ワールドカップでは2011年ドイツ大会で「なでしこジャパン」が優勝しました。2023年の大会を日本は招致しようと活動しています。他にはオーストラリア・ニュージーランド共催、ブラジル、コロンビアが立候補しています。

AFC U-23選手権タイ2020ではサッカー日本代表は1敗2分で、はずかしい結果でした。それでも日本代表は東京オリンピック2020に開催地枠で出場できます。東京オリンピックの開会式の前日にサッカーの試合が始まり、16日間で実施する決まりとなっています。

フットサル2020はリトアニアで行われます。アジアからは5チームが出場できて、日本も予選を戦っています。

<2. 日本サッカーの歴史と日産スタジアム>

次にいろいろな写真をお見せしながら、日本サッカーや日産スタジアムの歴史に触れていきます。1863年、世界に目を向けるとサッカーとラグビーの競技が2つに分けられました。それぞれのルールを決めて、ラグビーは選手が手でボールを持つことを認めました。一方、サッカーはキーパー以外の選手はボールを持ってない。このルールを定めたことにより、サッカーの方が手軽にプレーできて多くの国で広く行われるようになりました。

1873年、日本のサッカーの始まりで、英国海軍が日本海軍兵学寮でサッカーを教えました。

その後、ラグビーが日本に伝わって、慶應義塾大学の学生によって初めてラグビーが行われました。その記念碑が横浜市山下町に建てられました。横浜には多くの外国人が住んでいて、芝のグラウンドがありました。

1921年、日本サッカー協会が設立されました。1964年の東京オリンピックに向けてドイツからクラマーさんと言う先生を呼んで日本代表の実力を向上させました。その結果、当時の東京オリンピックでベスト8になりました。

1968年、メキシコオリンピックでは長沼さんが監督で、釜本や杉山がよくがんばって、銅メダルを獲って帰ってきました。その後、1972年や1976年のオリンピック予選では敗退しました。そして日本のサッカーは暗黒の時代が続きました。

1988年、ソウルオリンピックでは最後に中国に負けて予選敗退。

1992年、バルセロナオリンピックでは北朝鮮に負けて予選敗退。

JSL(日本サッカーリーグ)活性化委員会が1988年に立ち上がり、日本代表の強化に向けて何をやればいいのか話し合い、サッカーのプロ化が必要だろうとなりました。しかしプロ化を進める際に、ネックだったのはプロの試合を行うグラウンドがなかったことです。自治体では国体を開催することが決まって、スタジアムを建設していました。ご存知のように三ツ沢のスタジアムも国体に向けて建設されました。プロとして試合をやる場合は、収容人数が1万5千人以上、夜間照明が必要となります。日本全国でこの条件を満たすスタジアムは4つしかありませんでした。2002年ワールドカップを招致すればグラウンドができると思っていましたが、反対されたこともあります。新しいことをや



講演中の小倉純二日産スタジアム名誉場長

ろうとすると反対する人がいて、例えば現在進められているラグビーのプロ化でも反対意見が多いです。FIFAワールドカップ招致に向けて15の自治体が立候補しました。地方自治体の財政は裕福とは言えませんが、まだ余裕があって国体に向けて建設するスタジアムを前倒しで造る計画を立てました。首都圏で決勝会場となるスタジアムが必要と考えていましたが、東京都の鈴木知事が当時の国立競技場の改修が地権によりできないと伝えてきました。それに対して横浜市の高秀市長が大英断して、大きなスタジアムを新横浜に造っていただきました。国体に向けてスタジアムを前倒しで建設したのが、ワールドカップ決勝戦の招致に大きく影響しています。

ワールドカップ2002が日本と韓国の共催となった理由について触れます。1993年、日本はワールドカップ招致を進めていて、アベランジェ会長から前向きな意見を得ていました。しかし、アベランジェ会長がヨーロッパの委員をクビにして、FIFA内部の権力闘争が起きました。2002年のワールドカップ開催国を決める投票時にヨーロッパ各国の委員が韓国に投票すると言い出しました。当時、多くの日本企業がヨーロッパのサッカーのスポンサーとなっていましたので、日本を候補地から下ろすこともできませんでした。その状況でヨーロッパ各国の委員が日韓共催を提案しました。アベランジェ会長も日韓共催を支持したことにより、日韓共催が決まりました。

突然、日韓共催に決まったことにより、日本で行われる試合数が64から32になり、会場となる自治体は15から10となりました。これまで立候補していた自治体を10カ所に減らすことに苦労しました。

Jリーグの方は1993年の開幕まで準備に5年間を要しました。最初は10チームで始まりました。現在では、J1/J2で40チーム、J3で19チームの合計59チームまで増えました。全国では38都道府県まで広がりました。

1993年、ドーハの悲劇でFIFAワールドカップの出場がかないませんでした。

1998年、サッカーAFCダイナスティカップ(日本対韓国)が横浜国際総合競技場のこけら落としとして開催。中山と城のゴールで日本が2-1で韓国を破りました。この年のワールドカップに初出場を果たしました。日本は1954年にワールドカップの予選に初めて出場したので、ワールドカップ出場を決めるまで44年間かかりました。

2002年、ワールドカップ開催に向けてトラブルがいろいろとありました。特にチケットの販売について問題がありましたが、後ほど触れることにします。

2003年及び2004年、横浜F・マリノス優勝。2019年には15年ぶりに横浜F・マリノスが優勝しました。

2011年1月、アジアカップカタール大会で優勝。3月11日に東日本大震災が発生しました。直後に開催予定だった日本対ニュージーランドは相手チームが来日できずに中止となりました。何とかサッカーで被災地を力づけたいとチャリティーマッチを計画しました。3月末に長居で日本代表対Jリーグ選抜の試合を行いました。この年は、FIFA女子ワールドカップが7月に開催されて、決勝戦では澤のすばらしいゴールもあって日本代表が優勝しました。このチームの輝かしい活躍で日本を勇気づけました。

2012年、ロンドンオリンピックで女子チームは準優勝、男子チームはベスト4で男女とも活躍しました。

2018年、ロシアワールドカップで日本代表はベスト16になりました。

さて、2019年にはラグビーワールドカップが開催されて、横浜国際総合競技場でも6試合が行われました。Jリーグでは横浜F・マリノスが優勝しましたが、6月から11月までラグビーワールドカップのためにニッパツ三ツ沢球技場で試合をやらざるを得ませんでした。がんばってくれました。横浜FCがJ2からJ1に昇格。フットサルではY. S. C. 横浜がディビジョン1への昇格を決めました。

今後ここで、東京オリンピックが開催されます。横浜にとって、とても名誉なことです。サッカーワールドカップとラグビーワールドカップとオリンピックが世界の3大人気スポーツイベントです。この3つの決勝をひとつのスタジアムでやったことはなく、日産スタジアムが初めてです。オリンピックの男子サッカー決勝は8月8日に行われます。夏の暑さを考えるとキックオフの時間は午後9時過ぎになるかも知れません。その場合には帰りの交通手段が気になります。(注記: 記念講演会の後に、東京オリンピックは2021年に延期され、日程を見直し中です。)

<3. 2002年ワールドカップを振り返って>

話を戻しますが、2002年ワールドカップでどんなことが起きたのでしょうか。閉会後にFIFA理事会では「大変楽しかった」と好評でブラッター会長が「WORLD CUP OF SMILES (笑顔のワールドカップ)」と名付けました。別な話題として、カメルーンのキャンプ地の大分県中津江村はカメルーンチームの到着が大幅に遅れた時に村民全員が待っていて、歓迎する盆踊りを準備していました。翌日、カメルーンチームは新潟に移動する予定でしたが、村民の歓迎があったので移動をキャンセルしました。また、日本人がスタジアムで観戦する際に、ブラジルやイングランドなど各チームのユニフォームを着て応援していました。海外ファンは感動して“THANK YOU, JAPAN”と伝えていました。

2002年ワールドカップではチケット販売の問題がありました。全て売り切れたと聞いていましたが、かなりの席が空いていました。FIFAが初めてパイロム社というエージェントにチケット販売を発注しました。当時の通貨危機で日本に來られない外国人がチケットを返しましたが、それをエージェントが知らせてきませんでした。日本では多くのお客さんがチケットを欲しがっていたのでグループリーグの途中からチケットのリセールを行って、スタンドが満杯となりました。ラグビーワールドカップ時には再発防止で組織委員会にチケット販売の教訓を伝えました。これ以外にも、宮城スタジアムでは見切り席と普通席の場所を間違えて、空席が生まれました。これらの反省点を生かして、ラグビーワールドカップではチケット販売がうまく行ってスタンドが満杯となりました。

今日は雨が降っていますが、2001年コンフェデレーションズカップの試合は大雨の中で行われました。雨で視界が悪くて見えないくらいで、マッチコミッショナーが試合をやめろと言っていました。そこで、西田場長がNHKに電話して天気予報を聞きましたが、雨が止むかわかりません。この状況で横浜国際総合競技場には避雷針がたくさんあるので大丈夫と答えて試合を続けました。フランスに敗れましたが日本が準優勝しました。今でも雨が降るとあの時のことを思い出して心配になります。

FIFA総会で2002年の開催スケジュールを半月早めることを決めました。2001年6月7日に行われたコンフェデレーションズカップの大雨の問題があったので、天気予報会社と契約しました。2002年ワールドカップの決勝は6月中旬に問題なく行われました。昨年のラグビーワールドカップでは3試合が中止となり、横浜国際総合競技場でもイングランド対フランス戦が中止となりました。ラグビーではグループ戦の試合が中止になってもいいようなルールになっていて、とても感心しました。なかなかサッカーでは決めることができないルールで勉強になりました。

<4. 日本サッカーの歴史>

小倉名譽場長提供



香川県立丸亀高等女学校運動会 フットボール (四年四)

1921年頃、香川県立丸亀高等女学校運動会の絵はがきの写真 ～ 袴を履いてサッカーを楽しむ女学生たち ～

この絵はがきの写真は、1921年頃の香川県立丸亀高等女学校の運動会の様子で、袴姿で女学生がサッカーの試合をしています。たすきをかけているチームとかけていないチームが対戦しています。約100年前の事ですが、2年前に丸亀高校の演劇部が女子サッカーの発祥とされる上の写真を題材にサッカーをする女学生の劇を演じて、文部科学大臣賞を受賞しました。さらに、丸亀高校は映画化の検討をしています。日本サッカー協会が来年、創立100年となり、神奈川県サッカー協会は2019年度で90周年を迎えました。これと比べても日本女子サッカーの歴史はとても長いです。なぜ香川県が女子サッカーの発祥の地となったかと言うと、ドイツ軍人が中国で捕虜となって四国の捕虜収容所に連れてこられて、彼らが教えたことでサッカーが始まったようです。

話は変わりますが、2018年ワールドカップロシア大会で日本人のファンがスタジアムをきれいに掃除しているところがニュースとなって話題となりました。また日本代表がコロンビアと対戦した時に、控室が試合後に大変きれいに片付けられていたと、関係者が驚いたそうです。

Jリーグに目を向けると心配なことがあります。Jリーグ登録選手の内、日本人が1,547人で外国人が201人です。一方、外国でプレーする日本人は389選手で、国内でプレーする外国人より多くいます。では、日本選手が海外のトップリーグでレギュラーになれるでしょうか。長谷部選手とかいますが、なかなかトップリーグのレギュラーになれません。またトップリーグに行っている日本選手はなかなか日本代表に招集できません。ポルトガルやウルグアイなどの優秀な選手はトップリーグの選手になっています。

さて外国選手をJリーグで快く受け入れているでしょうか。過去には観客がスタンドで黒人選手にバナナを差し出した写真が残っています。浦和レッズのサポーターの一部が差別用語を書いた垂れ幕をスタジアムのゲートに掲げて、外国人を排除しようとした。ヨーロッパのリーグでも同様なことが問題となっていますが、日本でも問題が起きないようにして、外国人選手をうまく使っていくことが求められています。昨年のラグビーワールドカップを見ると日本代表チームの中で日本人と外国人選手が一体となって問題視されていません。

昨年のJリーグ最終戦で63,854人の観客が来場しました。ラグビーワールドカップ決勝戦では70,103人が入りました。今後、横浜F・マリノスががんばってどこまで観客を増やせるでしょうか。東京オリンピック2020では何人の観客が入るでしょうか。ラグビーワールドカップではスコットランド国歌(非公式)である“Flower of Scotland”の歌詞を2万枚配って、歌唱指導を行いました。このような取り組みはおもしろいと思いました。

12月7日に横浜F・マリノス最終戦が行われましたが、ビジター応援席の横の2,000~3,000席を緩衝地帯にしています。もっと多くの観客が入れる様に、今後は緩衝地帯をどのようにすべきでしょうか。

Jリーグの100年構想があります。2022年までに日本代表のFIFAランキングを10位とする目標があります。日本には8万人収容できるスタジアムがないので、ワールドカップを再度招致することが難しい状況です。

ラグビーワールドカップを横浜国際総合競技場で行って、入場観客数の記録が更新されました。このラグビーワールドカップの準備期間に、LEDを使った照明に取り換えて、トイレを洋式に交換しました。

<5. 東京オリンピック・パラリンピック大会2020> (注記:東京オリンピックは2021年に延期されます)

今後、横浜市で東京オリンピックの競技が行われます。オリンピックやパラリンピックに向けて英国事前キャンプも横浜市で行われます。

<6. 日産スタジアムの歴史>

1997年、スタジアム完成 その年の11月アベランジェFIFA会長がスタジアムのチェックのために来場

1998年4月5日、ウイダー日英学生ラグビー対抗戦、その年の10月にかながわ・ゆめ国体開催

1999年8月6日、ワールドカップ2002の決勝戦会場に決定

2001年6月7日、大雨の中で行ったコンフェデレーションズカップ、中田がフリーキックを決めて勝利

2002年6月9日、ワールドカップ日本対ロシア 高円宮様をご観戦される中、日本代表がワールドカップ初勝利

2002年6月30日、ワールドカップ決勝戦に小泉純一郎首相やブラッターFIFA会長が来場 ブラジルが優勝

2004年9月23日、セイコースーパー陸上2004ヨコハマ開催

2005年6月12日、FCバルセロナ日本ツアー2005 FCバルセロナ対横浜F・マリノス(岡田武史監督が采配)

2006年12月17日、クラブワールドカップ決勝 インテルナシオナル対バルセロナ(イニエスタ選手が出場)

2007年12月13日、クラブワールドカップ準決勝 浦和レッズ対 ACミラン

2011年12月18日、クラブワールドカップ決勝 サントスFC対FCバルセロナ(ネイマール選手、メッシ選手出場)

2013年11月30日、Jリーグ最終節 横浜F・マリノス対アルビレックス新潟 入場観客数62,632人

2015年12月20日、クラブワールドカップ決勝 リーベル・プレート対FCバルセロナ(ネイマール選手が出場)

2016年9月10日、ジャパンラグビートップリーグ18年振りにラグビーの試合を実施

2016年12月18日、クラブワールドカップ決勝 鹿島アントラーズ対レアル・マドリード

2017年11月4日、リポビタンDチャレンジカップ ラグビー日本対オーストラリア

2018年10月27日、プレディスローカップ ニュージーランド対オーストラリア

2019年11月2日、ラグビーワールドカップ決勝 南アフリカ対イングランド 南アフリカが3度目の優勝

2019年12月7日、J1リーグ最終節 横浜F・マリノスが15年ぶりに優勝 観客動員数 63,854人(J1リーグ入場者最多記録)

講演会は以上で終わりです。ありがとうございました。



横浜 F・マリノス 喜田拓也選手のメッセージ

日産スタジアムボランティア20周年に対して、横浜F・マリノス喜田拓也選手から心温まるお祝いのビデオメッセージを頂きました。記念講演会の会場でビデオメッセージをスクリーンに映して、参加者全員で拝聴しました。

<喜田拓也選手のメッセージ>

スタジアムボランティアの皆さん、20周年おめでとうございます。
横浜F・マリノスの喜田拓也です。いつもホームゲームでは我々を支えていただき、本当に感謝しております。これからもたくさんお世話になります。いつまでも宜しくお願いします。



©1992 Y.MARINOS

集合写真：20周年記念講演会にご参加の皆さま ～ 日産スタジアム正面玄関にて ～



懐かしい10周年記念パーティーの集合写真、貴方の「いい笑顔」を見つけましょう！（スタジアム内で撮影）

日産スタジアムボランティア ユニフォームなどの展示品

1月18日(土)、日産スタジアムボランティア20周年記念講演会の会場となった301号室には、1999年のボランティア創立当時のユニフォームやFIFAコンフェデレーションカップ2001、そして2002FIFAワールドカップのユニフォームなど貴重品が惜しげもなく展示されました。また岡田武史横浜F・マリノス元監督のメッセージ(2005年)やボランティアユニフォームに書かれたサイン(2008年)も展示コーナーに持ち込まれました。ボランティアIDの変遷についてボードが作られて2008年から2019年までのIDカードを見ることができました。そして、20年間の思い出アルバムとして写真パネルを3枚用意して、懐かしい写真が掲示されました。

今年の1月16日、毎日新聞社神奈川イメージアップ大賞の表彰式にて、日産スタジアムが賞状と副賞の色紙「笑顔のスタジアム」をいただきました。この貴重な品も初めてお披露目されました。これ以外にも、ボランティアに使用したユニフォームや記念品など多数の品物が展示されました。小倉名誉場長や木村元副場長をはじめ、来賓の方々やスタジアムスタッフやスタジアムボランティアが展示品を見ながら当時の様子を思い出していました。

貴重なユニフォームなど個人の所蔵品を展示用にご提供された実行委員や、多くの展示品を準備した展示部会メンバーやスタジアムスタッフの方々、ありがとうございました。



展示品を見てご歓談される小倉名誉場長と木村元副場長



20周年の思い出アルバム(一部抜粋)



毎日新聞社神奈川イメージアップ大賞 副賞の色紙



毎日新聞社神奈川イメージアップ大賞 賞状



ラグビーワールドカップ2019大会開催の記念像



ボランティアIDの変遷



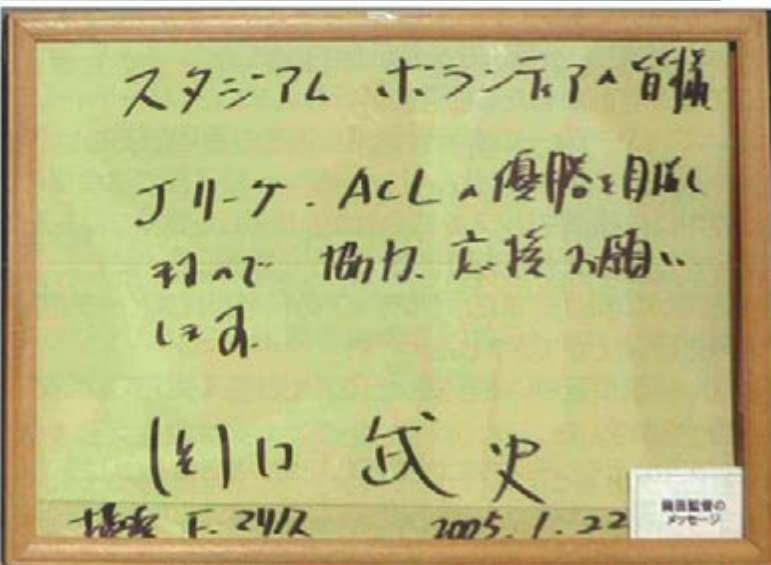
2002FIFA ワールドカップのユニフォーム(左)
トヨタカップ2008ユニフォーム(右)



ボランティア創立
当時のユニフォーム



コンフェデレーションカップ
2001 ユニフォーム



岡田武史横浜F・マリノス監督(当時)のメッセージ



岡田武史横浜F・マリノス監督(当時)のサイン

20周年記念パーティー ～20th Anniversary～

1月17日(土)、午前中に行った20周年記念講演会が時間通りに終わり、記念パーティー出席者は送迎バスなどで Socia21(ソシア21)に移動しました。そして、定刻の12時30分に20周年記念パーティーが始まりました。ご来賓として横浜マリノス株式会社様、株式会社横浜シミズ様、横浜市体育協会、日産スタジアムから多くの方々のご出席されました。また日産スタジアム運営ボランティア96名とツアーボランティア1名が参加して総勢約120名が日産スタジアムボランティア20周年を祝いました。パーティー会場には記念講演会と同様に、日産スタジアムが神奈川イメージアップ大賞の副賞としていただいた「笑顔のスタジアム」の色紙や、展示部会が用意した20周年の思い出アルバムのパネルや日産スタジアムボランティア運営ボランティア登録の推移などのパネルを展示しました。

日産スタジアム名誉場長の小倉純二様の開会ご挨拶でパーティーが始まりました。次に来賓ご挨拶を横浜マリノス株式会社黒澤良二社長から頂戴しました。続いて株式会社横浜シミズ戸田淳哉様のご挨拶のあと、日産スタジアム元副場長の木村重治様のご挨拶を頂戴しました。

また、大変うれしいこととして、FC 今治の管理会社である「株式会社今治 夢スポーツ」の代表取締役会長の岡田武史様からメッセージが届きました。岡田武史様は元サッカー日本代表監督としてワールドカップで指揮を執り、その後、横浜F・マリノスの監督に就任されて2003年と2004年に2年連続の優勝の栄冠を手に入れました。パーティー会場で司会の三浦悦子さんにより拝読させていただきました(メッセージは次ページに掲載)。日産スタジアムボランティアのことを今でも思い、とても温かい岡田武史様のメッセージは心にしみました。

今回、スタジアムボランティア20周年行事の中で、在籍20年のボランティアの方々へ感謝状を授与することを決めました。1999年の日産スタジアムボランティア設立から20年に渡り多大なる貢献をされた功績を讃えて感謝状を贈りました。感謝状授与式の初めに日産スタジアム名誉場長の小倉純二様からボランティア最年長の安田十四雄さんに感謝状が授与されました。感謝状をお渡しする対象者は62名になりますが、パーティーに参加された31名には会場で感謝状を贈りました。パーティーに参加されなかった対象者には、活動時にお渡ししました。お渡しできなかった方には、ご自宅に送付しました。在籍20年を達成されたボランティアへの感謝状授与は今後も継続されます。例えば2003年に入会された方は2023年に感謝状授与の対象者となります。

スタジアムボランティア20周年の式典は滞りなく終わり、乾杯の音頭を日産スタジアム元副場長の木村重治様にお願ひしました。木村様のご挨拶をされて、いよいよ「乾杯！」の一言で全員がグラスを高々とかがけて20周年を喜び合いました。パーティー会場の奥のスペースにはビュッフェスタイルのいろいろな種類の多くの料理が用意されており、各自好きなものをお皿に盛っておいしい料理を堪能しました。立食パーティーですが、会場内には多くの丸テーブルが配置されて、その上には飲み物が置いてあります。ボランティアを含めて参加者はテーブルのまわりに集まって、これまでのボランティアの経験など楽しい会話に花を咲かせていました。

パーティーが盛り上がりご歓談中でしたが、ここで豪華賞品が当たる抽選会が行われました。パーティーの会費を払った時に渡された半券に番号が印刷されていて、パーティーの実行委員が当選者の番号を読み上げて次々に賞品が渡されていきました。全員に賞品が当たるわけではありませんが、パーティー終了後には会場の出口で賞品が入った袋が全員に渡されました。賞品の中には横浜マリノス株式会社から頂戴した貴重な品も入っています。これらの品々をご提供していただいた横浜マリノス株式会社の関係者に心から感謝しています。

パーティー後半では、何人かの参加者にご挨拶をお願いしました。またボランティアの何名かにスピーチをお願いして、今までの思い出やこれからの抱負などの声を聴くことができました。

楽しかったパーティーもあっという間に時間が過ぎて、終焉が近づいてきました。ここで日産スタジアムボランティアを代表して安田十四雄さんが閉会のお言葉を述べられました。

今回、20年間活躍してきたベテランから入会して1年目のボランティアまで20周年記念を祝う会となりました。最後になりますが、記念講演会から記念パーティーまで通して司会の大役を担っていただきました大家啓伸さんと三浦悦子さんに心から感謝しております。また、この日のために、長い時間をかけて準備を行ったスタジアムスタッフやボランティア実行委員の方々、ありがとうございました。

～開会ご挨拶～ 日産スタジアム小倉純二名誉場長

本日は日産スタジアムボランティア20周年おめでとうございます。一昨日、毎日新聞社主催の「神奈川イメージアップ大賞」を受賞しました。副賞として「笑顔のスタジアム」と書かれた色紙をいただきました。これは2002年FIFAワールドカップが閉会后に「WORLD CUP OF SMILES」(笑顔のワールドカップ)と名付けていただき、それにちなんだ言葉です。

これからも笑顔でボランティア活動を続けてもらえるとありがたいです。



～来賓ご挨拶～ 横浜マリノス株式会社 黒澤良二社長

日産スタジアムのボランティアや関係者の皆さん、明けましておめでとうございます。

昨年、横浜F・マリノスは優勝することができました。12月7日の最終戦では涙と感動の試合となりました。全員一丸となってがんばって、生き生きとした顔が印象的でした。横浜F・マリノスの優勝はボランティアの皆さまのご支援がないとできません。これからも「アタッキング・フットボール」を見て楽しんで下さい。

皆さんが日産スタジアムを支えていてくれることに、心から感謝しています。



～来賓ご紹介～ 横浜マリノス株式会社

黒澤良二様、木村昌実様、森川晃様、矢野隼平様、飯尾直人様、永井紘様

スタジアムボランティア20周年おめでとうございます。皆さまのお力を借りて、昨年は良いシーズンとすることができました。これからも宜しくお願い致します。

～来賓ご挨拶～ 株式会社横浜シミズ 戸田淳哉様、桜井美宝様

スタジアムボランティア20周年おめでとうございます。いつもお世話になっております。皆さまといっしょに活動して、お話しできることが癒しの時間となっています。これからも宜しくお願い致します。

～来賓メッセージ～

株式会社今治 夢スポーツ代表取締役会長 岡田武史様 「お言葉」

日産スタジアムボランティアの皆さん、

日産スタジアムのボランティア組織ができて20年になるとの事、人の入れ替わりはあるでしょうが長く続けられているのはすごい事だと思います。

私にとっても日産スタジアムは思い出深いところです。2003年横浜F・マリノスの監督として満員のスタジアムで完全優勝の時のことは忘れられません。

昨年の横浜F・マリノスの優勝の時にはフラッシュバックのように当時のことが蘇ってきました。あの時も我々を陰で支えてくれた多くのボランティアの方がおられました。シーズン終了後、ボランティアの方々との懇親会では、自分のことのように喜んでくださったことをよく覚えています。

我々FC今治も早く強くなって日産スタジアムで横浜F・マリノスと試合ができるように頑張ります。その時にまたお会いしましょう！

～20周年感謝状授与式～

日産スタジアム名誉場長 小倉純二様からボランティア最年長の安田十四雄さんに感謝状が贈られました。

感謝状

安田 十四雄 様

貴方は日産スタジアム運営ボランティアとして20年にわたり多大なる貢献をされましたここに功労を讃え感謝状を贈ります

令和二年一月十八日

日産スタジアム名誉場長 小倉 純二



～乾杯の音頭～ 日産スタジアム元副場長 木村重治様

日産スタジアムボランティアの20周年とお聞きして、記念講演会や記念パーティーに出席できて良かったです。日産スタジアムを退職して12年か13年経ちました。今日、来てみて当時のことをいろいろと思い出しました。いっしょに仕事をしたボランティアの方々のことも思い出しました。ボランティアの皆さんがラグビーやサッカーやその他のイベントを支えています、今後ますますご発展してほしいと思っています。

では、乾杯のご準備はよろしいでしょうか。「乾杯！」



20周年感謝状授与式の様子



高橋事業部長からご挨拶がありました



横浜マリノス(株)黒澤社長(中央)と記念撮影



楽しい抽選会を計画・運営した実行委員の皆さん



司会の大家啓伸さんと三浦悦子さん



受付や会計を担当した実行委員の方々

～閉会のおことば～

日産スタジアムボランティア 安田十四雄
ボランティアを代表して日産スタジアム関係者にお礼を申し上げます。

ボランティア創立20周年となりますが、スタート直後に横浜F・マリノスの活動を行いました。本当に横浜マリノス株式会社の皆さまあつてのことだとお礼を申し上げます。

横浜市体育協会およびイベント主催の皆さまにお礼を申し上げます。ボランティアをご支援いただいた皆さまあつての我々の20年間です。本日で20周年の節目の行事は終わりです。今日の記念講演会と記念パーティーの役員の皆さん、お疲れさまでした。

これからは次の目標に向かって、みんなでスタジアムの活動を確実に行っていききたいと思います。

ご来席の皆さま、本当にありがとうございました。



在籍20年ボランティア 感謝状授与式対象者名簿（順不同、敬称略）

＜運営ボランティア＞井出清四郎、中山浩、岸本章、加藤仁樹、大輪正美、伊藤博、安田十四雄、永田葉子、大家啓伸、廣澤恵美子、真板保昌、米田功一、上田敏彦、江部和夫、原敏美、大橋靖子、久保正文、菊池喜代勝、野木厚希、野見山捷一、中藤早苗、瀬尾孝子、津久井喜代子、山田久雄、鈴木崇、佐藤淳子、桑原倬司、志保田俊男、鈴木克明、水山亮、釘抜栄子、鈴木郁子、筒井由美子、横塚雅美、佐藤大治、原橋清美、小沼久恵、鈴木麗子、佐藤辰夫、天澤名知子、佐野平、石川比呂子、尾形玲子、川尻和子、荒川栄、今谷美佳、中島節子、花井玲子、田代勝子、小磯寿美子、平川みゆき、鈴木国悦、佐山喜美、田中龍男、浅見圭一、緒方二三男、副島由紀（以上、57名）

＜ツアーボランティア＞廣石公一、平川元美、荻井真利子、小室実、竹野下等（以上、5名）

日産スタジアムボランティア20周年記念バッジ

日産スタジアムボランティア20周年を記念してバッジを作成しました。2019年度のIDカードの中央に表示されている日産スタジアムの写真と「20th」と「Stadium Volunteers, The 20th Anniversary（意味はスタジアムボランティア、20周年記念）」をバッジにデザインしました。外周の赤と青のリングは横浜F・マリノスのチームカラーを参考として、青のリングには20周年記念をイメージした20個の星を配置しました。

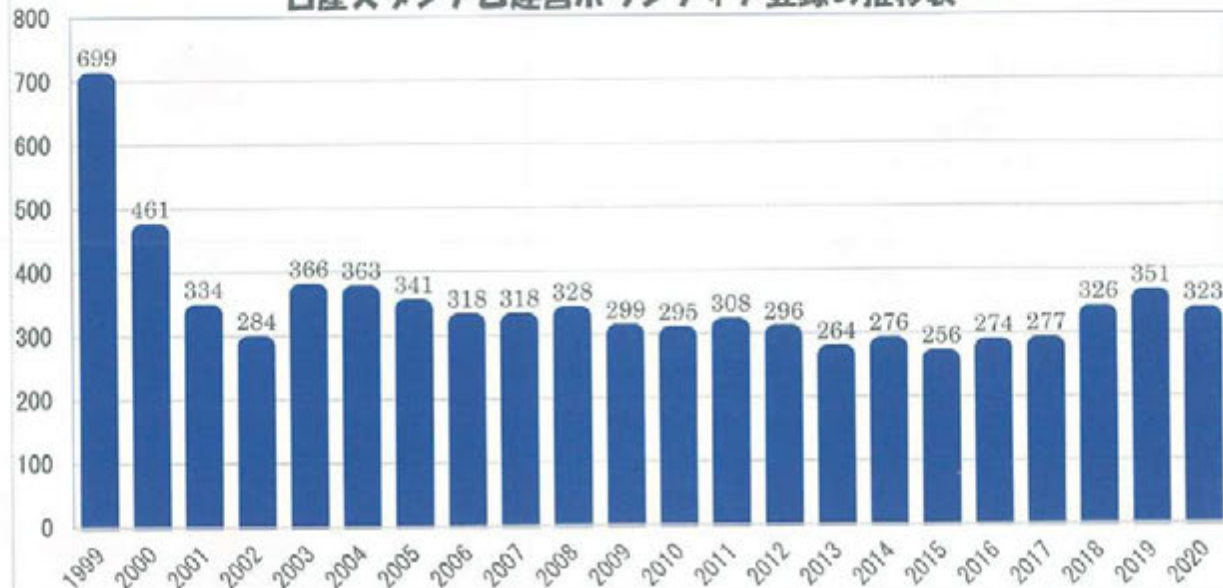
バッジはやや小さめの直径25mmとして作成しました。ボランティアの方々には昨年の秋以降の活動で配りましたが、活動に参加されなかった方には郵送しました。ピンバッジになっていますので帽子やIDケースのストラップなど目立つところに付けましょう。



日産スタジアム運営ボランティア登録の推移

2018年からファイナル・スタジアム・スポーツ・ボランティア・アカデミー（FSVA）が開講されました。それに伴って、FSVA受講生の登録者も増えました。またラグビーワールドカップ2019や東京オリンピック2020などのボランティアがきっかけで日産スタジアムボランティアに新規登録するケースもありました。2020年度の登録数は323名で昨年度より約30名少なくなります。この理由をはっきりしませんが、東京オリンピック2020が延期となりますので、どのような影響があるのかわかりませんが、今後のボランティア登録人数の増減を注目していきたいと思えます。（データ提供：羽賀眞悟さん、日産スタジアムスタッフ）

日産スタジアム運営ボランティア登録の推移表



ボランティア 20年の想い!

ID 番号: U-15051 氏名: 本田 明美

2002年サッカーW杯ボラで活動中に、こちらのスタジアムボラを知りました。2003年第2期ボラです。第1日目雪のちらつく4月初めで7Fの配置でした。横浜F・マリノスがJリーグ連覇の全盛期で、当時岡田監督が講演に来て下さってメッセージカードを渡す大役を任された事が一番の思い出です。

現在の活動以外にカード販売、Vチームお手伝い、他チームボラへ出張、Jリーグオールスターボラ活動、AED、手話など本業の会社員では得られない多くの経験を積ませていただいています。英語の他に2003年から多言語を学び始め、案内に役立つよう勉強しています。ボラ活動のためにと長年過ごしてきました。日々の活力であり、自分ではこちらが本業と思っています(笑)。

ID 番号: U-11915 氏名: 浅見 圭一

2002年のGW、20名の旧KOWOCボランティアの皆さんがスタジアムを訪れた。午前中は特別スタジアムツアー、西田元場長の挨拶、午後からナビスコ杯観戦と盛りだくさんの一日だったが、試合中に「対戦相手の韓国人選手に会いたい」と言われ、急きょスタジアム経由で対戦相手クラブに依頼して実現した。スタジアム側の臨機応変な対応に心から感謝していて、GWが来るたびに思い出す。夜の懇親会で飲んだビールのうまさは何ものにも代えられない。(担当は村本係長? 後日「私たちの日本訪問」という記事で大韓サッカー協会の機関誌に掲載された。)

ID 番号: U-21004 氏名: 望月 英雄

日産ボランティア 20周年達成おめでとうございます。

2009年から日産ボランティアに参加して今年で11年目を迎えます。

日産ボランティアに参加した動機は当時日産ボランティア事務局の藤木様との出会いでした。人としての魅力にあふれていて、その魅力に吸い寄せられた気がします。言動に気遣いがあふれておりどんな人ともコミュニケーションをはかる能力に優れており、穏やかで嫌みなどがなく男の目から見ても惚れ惚れした思いで日産ボランティアに参加させていただきました。

私は、日本陸上連盟の公認審判員、東京マラソンボランティア等に参加していましたが、少しでも日産ボランティアとして貢献出来ればとの思いで地道な努力をさせていただいております。参加させていただいて、多くの事を学ばせていただき大変感謝しております。フィールドキャストとして、ワンチーム感、みずから楽しみ導く 敬意・勇気・責任・変革によって、人によって楽しみ方は違うけど一人一人が輝く姿を見る事を体験出来て、ダイバーシティ(多様性)、インクルージョン(包括)も学びました。日産スタジアムでの障害者の誘導案内では多様性と共生、考える視点、実現する行動について身を持って体験致しました。障害者を誘導案内した時、健常者に比べて障害者への機能が不足しているのも痛感させられました。コミュニケーションのポイントである「挨拶力」「傾聴力」「会話力」の大切さも、スタジアム会場で得る事が出来ました。

又、スタジアム会場で観客がハーフタイムにトイレを利用する際、出入り時に衝突して怪我をする場面にも遭遇しました。その時から「守る安全」、「声掛けの安全」、「考える安全」を常に意識して、絶対に怪我をしない、させないと言う強い信念を持ち、メリハリをつけて作業・行動に心掛けております。

今後も日産ボランティアの一人として、小さな前進の積み重ねに努力し、プレゼンス(存在感)、ドライビングフォース(原動力)を目指し、思いは小さな一歩が変える、共感によって人を動かすのを忘れずに先行挨拶の励行に努めるよう心掛けて行きます。最後に10年間、日産ボランティアを継続出来たのもスタッフ・ボランティアの多くの仲間を支えられての御蔭です。感謝と共に今後も宜しくお願い致します。

ID 番号: U-31230 氏名: 吉岡 麗

日産スタジアムボランティアメンバーとしては初心者で、5時間耐久リレーマラソンしか経験していませんが、先輩方と楽しく活動させていただきました。いろいろなスポーツをしてきましたが、これからのライフワークとして、先輩方のようにスポーツボランティアを楽しんでいきたいです。

そして、レベルは高くないですが、英会話でのコミュニケーションにも、積極的に取り組んでいきたいと思っています。

ID 番号: U-15902 氏名: 村田 博

私の初めてのボランティア活動は「2002FIFA ワールドカップ横浜市通訳ボランティア」でした。横浜市による10回にも及ぶ一般研修やリーダー研修は初心者の私にとってはその後の活動に大いに役立ったと今でも印象に残っています。翌年、横浜市からの紹介で日産スタジアムの「見学ボランティア」を始めました。次いで佐藤大治さんのお誘いで「運営ボランティア」もつとめることになりました。それから20年間、ラグビーワールドカップまでさまざまなボランティアを経験しました。ボランティア活動を通じていちばん感謝していることは、人生経験豊かで優れた個性や特技を持ち合わせたたくさんのボランティア仲間と出会えたことです。仲間との交流は、私の人生を楽しく豊かにしてくれ、また多くのことを教えてくれました。心から感謝しています。

ID 番号: U-29024 氏名: ハッ橋 隆

RWCの思い出

※トイレの整理誘導。西6階・7階のトイレは通路が狭く大勢の人をハーフタイム時間内で捌かなければクレームになる。そこで、養生テープなど使用して狭い通路を上手に捌いた。この経験は必ず日産スタジアムの誘導にも活用できると信じて日々活動した。「レストルーム」「バスルーム」「トイレ」と連呼したが、日本人だけでなく外国人からも「GOOD JOB」と声をかけられただけでなく、抱きつかれた事がよい思い出になりました。

※西4階の階段の陰で外国のお母さんが乳幼児に授乳をされていた。そこで、男性が直接声掛けするのが憚れたのでインフォメーションの女性に声掛けてお願いして、授乳室に誘導してもらった。移動の際、私の行動がわかっていたのか、手を振ってくれた。授乳室など案内板が見つかりにくいので積極的に声掛け(TPOに合わせて)が必要と感じた。

ID 番号: U-15128 氏名: 落合 明人

今まで感じたことは日本代表戦やクラブWカップ、そのほかは横浜F・マリノスの優勝決定試合などの試合をやれたのが良かったです。多少ながらラグビーワールドカップなどができてよかったなと思っています。でも残念ながら活動が少なくなってきたことです。最近では日本代表戦も他のスタジアムに持って行かれたのは悔しいです。また今年は東京オリンピックの試合のボランティアに関われなかったのが残念で悔しく感じました。私自身は怒られたこともありましたが、やさしく育てていただいたこともいい思い出となりました。私ごとですけれども、今病院に入院していますが復帰は5月頃の横浜F・マリノス対横浜FC戦あたりになりますので宜しくお願いします。

ボランティア20年の思い出アルバム



日産スタジアムに鯉のぼりが泳ぎます
(2019年5月)



発足翌年の第1回交流会(2000年8月)



岡田監督に必勝折鶴の贈呈(2007年6月)



鎌倉でハイキング(2009年5月)イベント部会主催



田植え(2012年6月)グリーン&クリーン部会主催



かかし作り(2018年8月)グリーン&クリーン部会主催
ラグビーワールドカップの日本代表チームかかし



餅つき&しめ縄飾りづくり(2018年12月) 日産スタ
ジアム・イベント部会・グリーン&クリーン部会共催



日産スタジアムボランティア30周年を目指して！

ボランティア20周年記念パーティーの席で感謝状を受け取った方が、「日産スタジアムボランティアをまさか20年間も続けることになるとは思っていませんでしたよ」と語ってくれました。これまで積み上げてきた経験や苦勞の蓄積がわたしたちの強みの礎になっています。しかし現状の実力に甘んじているのではなく、さらなる高みを目指して新たなチャレンジをして行きましょう。2021年には東京オリンピックの試合が予定されています。今後の10年間にどのような新たな活動が待っているかわかりませんが、どんなに大きなイベントがあってもみんなで力を結集して乗り切っていくパワーを身につけていきましょう。

➡ **今、「笑顔のスタジアム」を心にきざんで未来に進んでいこう！**

- ❑ 本誌写真提供者： 日産スタジアム名誉場長 小倉純二様、日産スタジアムスタッフ、久保勝美
 - ❑ 本誌編集メンバー： 20周年記念事業実行委員会広報部会 高橋秀毅、久保勝美、安田十四雄（敬称略）
- 「写真のご提供、編集のご協力、ありがとうございました」

❑ ❑ ❑ ❑ ❑ ❑ 編集後記 ❑ ❑ ❑ ❑ ❑ ❑

❑ 2018年8月、日産スタジアムボランティアの20周年事業の計画を安田さんからお聞きしました。直ちに実行委員会の立ち上げに携わりました。当時の20周年記念事業の計画書を読み返してみると、日産スタジアム名誉場長小倉純二様の記念講演会、記念パーティー、記念品作成、ボランチわ記念特集号発行などがリストアップされています。それから1年6か月を経て20周年のボランチわ記念特集号の発行をもって全ての計画が終了します。1月18日に行いました記念講演会や記念パーティーには多くのご来賓の方々やスタジアムスタッフやボランティアがご出席され、予想を超える盛り上がりでした。今回、日産スタジアムボランティアの20年間の歴史を学ぶことができ、諸先輩の方々のご苦勞されて積み上げてきた経験や知識に触れることができました。最後に20周年事業ではスタジアムスタッフとボランティア実行委員から多大なご支援を頂きましてありがとうございました。（久保 勝美）

❑ はじめに、年末ご多忙の中を貴重なお時間を割いていただきまして「お言葉」をお寄せ頂きました岡田 武史様に心より厚く御礼を申し上げます。

「10年一昔（ひとむかし）」と言う諺があります。20年とは二昔（ふたむかし）ということになりますが、この昔話に関わったスタジアムボランティアの総人数は多分1500人を上回ることでしょう。大変な人数の皆さんの懸命な努力で、この日産スタジアムボランティア20年の歴史を築いてきたことになりました。改めまして現役の皆さまをはじめ、退役されて去られていかれた皆様にも深く感謝申し上げます。掲載された色々な写真を見るとそんな方々の、当時の活動ぶりが走馬灯のように思い出されます。

ボランチわ編集部 久保様 高橋様 本誌編集お疲れ様でした。長時間多くの古い資料と奮闘されてご立派な記念誌が出来上がりました。私も10年前に「10周年誌」を孤軍奮闘して仕上げ、刷り上がった見本誌を手にとった感激を思い出します。既に次の10年がスタートしました。より向上した「笑顔のスタジアム、ボランティア30周年」を目指してワンチームで進んでいってください。（安田 十四雄）

2020年6月 発行 編集・発行：日産スタジアム ボランティア事務局 20周年記念事業実行委員会広報部会
〒222-0036 横浜市港北区小机町3300 日産スタジアム TEL:045-477-5030 FAX:045-477-5002

スタジアムには春夏秋冬の風が吹き、過ぎた日々を思い出す
今、「笑顔のスタジアム」を心にきざんで未来に進んでいこう！

